



クローズアップ
CLOSE UP

四名公を学ぶ初の試み

11月20日に群馬会館で前橋ゆかりの大名を顕彰する前橋四公サミットを初開催。槍術の演武が始まると会場からは感嘆の声が漏れ、創作劇では笑いが起こる場面も。四公を顕彰する団体の人たちは、サミットを契機に、活動のさらなる充実を誓い合いました。



のぞいて楽しむ物語

11月12日から23日まで前橋文学館で「のぞきからくり」の展示を実施。うち3日間で口上師の実演も行いました。元祖3D映像機と呼ばれ、作りは豪華そのもの。物語が始まると皆一斉に穴をのぞいたり、口上師の話を熱心に聞いたりしていました。



日伊を結ぶ新酒ワイン

中央イベント広場で11月4日、イタリアの新酒ワイン解禁を祝うノベッコ祭を開催。ソムリエの田崎真也さんらが登場しました。オルビエート市との交流に尽力した徳永詢さんらに国際交流名誉アドバイザーの委嘱も。会場はイタリアの香りに包まれました。

いきいき
まえばし人

津田 千鳥さん・67歳
女性交通指導員
総社町総社

母のように子どもの安全を見守る



今年、交通指導員になって8年目を迎えた。女性初の市交通指導員会本部役員も務めている。最初は気恥ずかしかった制服も、今では大切なアイテム。袖を通すだけで気持ち引き締まるようになった。いつも笑顔で子どもたちや親に接する津田さん。元気がない子には、一言添えることも。自身の育児経験を生かし、母親のような気持ちで子どもたちに接している。

「まずは私が常に子どもたちや親の見本でありたいです。子どもたちの安全確保を第一に、目を配り、気付いたことを伝えるようにしています」自身は子育てが終わり、子どもと触れ合う機会がなくなっていた。だから、子どもたちの笑顔が見られるこの朝のひとときは、津田さんにとっても待ち遠しい時間だ。「交通指導員さんにあいさつされると元気になるます」。子どもたちからもらった文集にあった言葉。これが津田さんの原動力。「朝は1日のスタート。笑顔で元気よくあいさつし合うことで、その日1日を気持ちよく過ごしてほしいです」

赤城山麓アカシア蜂蜜



赤城山麓で育った蜂が集める蜜は、赤城の恵そのもの

自然豊かな赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「赤城山麓アカシア蜂蜜」を紹介します。赤城山の南麓で養蜂業を営む高橋さん夫婦。越冬で弱った蜂を強く勢いのある蜂に育てます。強い蜂を育てるのは赤城山麓の春の花やきれいな

赤城の恵ブランド
赤城山麓アカシア蜂蜜

vol. 41



☎赤城山麓養蜂場・高橋さん
☎090-3135-0888

水。その蜂たちが集める蜜は赤城の恵そのものです。いろいろな花の蜜が混ざった百花蜜に比べ、高橋さんのアカシア蜂蜜はくせがなくすっきりとした甘み。一口にアカシア蜂蜜といっても、環境が違えば花にも違いが生まれ、蜂蜜にも違いが。前橋で採れるアカシア蜂蜜は白く澄み美しく、上品な甘みが特長です。そのままトーストやパンケーキ、ヨーグルトにかける他、料理やお菓子作りに使うのもお勧め。赤城山麓アカシア蜂蜜は、自社直売所や通信販売、イベントなどで、330g、1,400円で販売しています。600g、1,200g、2,400gのサイズもあります。